

警察庁交通局交通企画課 中島課長補佐の講話（要旨）

貴協議会におかれては、平素から交通安全管理のみならず、警察行政の各分野にわたって御協力を頂いており、感謝申し上げます。

交通事故死者数は昨年、昭和 24 年以来 67 年振りに 3 千人台となった。

しかし、小学生の登下校時の事故、高齢運転者や悪質・危険な飲酒運転等による事故が後を絶たない。

昨年の自動二輪車と原動機付自転車乗車中の死者数は、一昨年に続いて増加しており、うち頭部及び胸部の損傷による死者数は全体の 70%以上に上る。頭部損傷はヘルメットの離脱によるものが多く、ヘルメットの顎紐を緩みがないように正しく着用することが非常に重要となっている。

我が国は、平成 32 年までに交通事故死者数を年間 2,500 人以下として、世界一安全な道路交通を確保することを目指している。

警察としては今後、悲惨な交通事故を一件でも減少させるよう、ヘルメットの正しい着用やプロテクターの着用等、強力な交通安全施策を推進していく。

貴協議会におかれても、協議会作成の安全運転マニュアルの確行、安全運転実技講習会への積極的参加や無事故無違反運動などの活動を通じて、安全・安心な交通社会の実現に向けて、なお一層の御尽力を頂きたい。

貴協議会の益々の御発展を祈念する。

以 上

（文責：村川）